

平成18年11月13日

各位

会社名 京阪電気鉄道株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 茂雄
(コード番号 9045 東証・大証第1部)
問い合わせ先 取締役(経営統括室副室長)
加藤 好文
(TEL. 06-6944-2529)

京阪グループ経営ビジョン「"選ばれる京阪"への挑戦」の策定について

当社を中核企業とする京阪グループでは、「京阪グループは、人の暮らしに夢と希望と信頼のネットワークを築いて、快適な生活環境を創造し、社会に貢献します。」を経営理念として企業活動を展開しています。

この経営理念にいたる基本的な戦略として、開業100周年を迎える2010年(平成22年)以降を見据えた京阪グループ経営ビジョン「Vision100“進化する京阪”」を2000年(平成12年)4月に制定しました。この経営ビジョンにもとづき、中期経営計画「Re-Born21」の実行に取り組んだ結果、目標年度であった2005年度(平成17年度)には当初の目標を上回る当期純利益を計上するなど、業績の急回復を達成しました。

しかし、京阪グループを取り巻く環境は、「Vision100“進化する京阪”」を構想した当時と比較しても、事業再編の流れが加速するなど、より一層激しさを増し、また刻々と変化しています。このような状況に対応し、京阪グループがお客さまの支持を得られる企業としてさらなる成長を遂げるためには、「Vision100“進化する京阪”」をさらに発展させた新たな経営ビジョンが不可欠であると考えました。

そこで、創立100周年を迎える今年、現在取り組んでいる中期経営計画「Jump21」(平成18年度から平成20年度まで)による飛躍の延長線上にある京阪グループの将来像として、開業100周年から10年後の2020年度(平成32年度)を見据えた、京阪グループ経営ビジョン「"選ばれる京阪"への挑戦」を策定しました。

京阪グループ経営ビジョン「"選ばれる京阪"への挑戦」は、「京阪エリアの魅力向上と拡大」、「京阪ブランドの確立」、「お客さまからの信頼の維持・向上」、「お客さま視点の営業力の強化」、「積極的・主導的な事業提携」に取り組むことを指針とし、「人々の暮らしを支え、よりよくすることを使命として、もっと多くのお客さまから選ばれる価値ある京阪グループを創造」することを目指しています。

京阪グループ経営ビジョン「"選ばれる京阪"への挑戦」の概略は次のとおりです。

京阪グループ経営ビジョン「“選ばれる京阪”への挑戦」

§ 1 . 京阪グループが重視する経営環境

京阪グループは、以下の4項目の経営環境を重視し、経営ビジョンを策定いたしました。

1 . 本格的な沿線間競争時代の到来

人口減少社会の進展、核家族化、単身世帯の増加により、居住地の流動化はさらに進む。その結果として、お客さまが生活エリアを選択する場面がさらに増え、本格的な沿線間競争時代が到来する。

2 . ライフスタイルの多様化と高度化

価値観の多様化や、情報化社会の進展により、お客さま一人一人が自分のライフスタイルについてそれぞれの価値観を大切にし、真に満足するものを追求し、選択する傾向がさらに加速する。

3 . 企業の社会的役割に対する期待の高まり

お客さまの安全性や環境に対する意識が高まり、これらに対して企業が担う役割への評価がより厳しくなる。

4 . 提携等によるビジネス拡大の一般化

提携やM&Aによってビジネスを拡大する手法がより多様化・一般化し、これまでは実現できなかった資本関係、提携関係が実現可能となる。

§ 2 . 京阪グループのビジョン

1 . 基本方針

わたしたちは、

「人々の暮らしを支え、よりよくすることを使命として、もっと多くのお客さまから選ばれる価値ある京阪グループの創造」に挑戦します。

2 . 事業エリア

京阪エリアの魅力向上

京阪グループが事業を展開するエリア全てを京阪エリアと位置づけ、京阪グループが主体的にかつグループ企業が連携して事業を展開することで、もっと多くのお客さまに、住んでいただける、訪れていただける京阪エリアを実現します。

京阪エリアの拡大

グローバル化社会の中で、京阪ブランドの価値向上に資する事業や競争力のある事業については、積極的な展開を行い京阪エリアの拡大に取り組みます。

お客さまの拡大

京阪エリア外も含めたもっと多くの方々に京阪グループのお客さまとなっただけできるよう、京阪エリアからの情報発信力、事業のネットワークを強化します。

3. 事業構成

京阪グループでは、事業それぞれの役割を明確化するとともに、集中と拡大を行い、最適な組み合わせをもって、事業を展開します。また、新規事業については、京阪グループの技術や市場の優位性を基礎として、積極的に取り組みます。

運輸業

鉄道事業を核に、より安全・安心、便利、快適な交通ネットワークの拡充に努め、京阪グループが提供する価値の根幹を支えます。また、業界トップレベルの効率化と積極的な需要創造施策の実施により、高い収益性を実現します。

不動産業

不動産賃貸事業とマンションを中心とした短期回収型の不動産販売事業を柱に、グループの中核事業であるとともに、今後さらなる拡大を目指す事業として育成を図ります。特に不動産賃貸事業については今後の拡大の中心と位置づけます。また、都市開発事業者として、魅力ある生活環境の基盤を創造するとともに、積極的な事業展開を行い京阪エリアの拡大にも取り組みます。

流通業

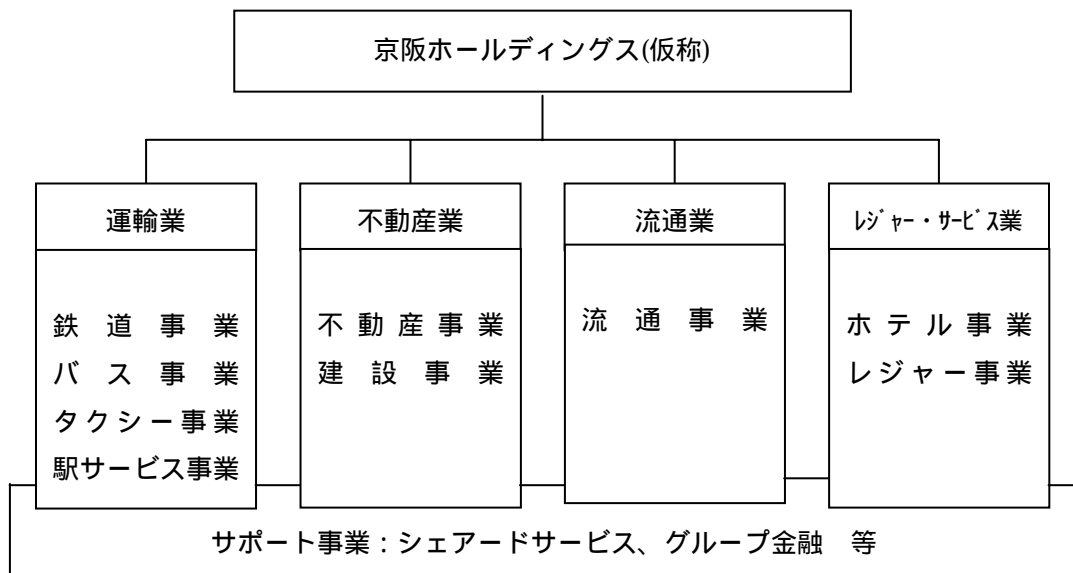
今後のさらなる拡大を目指す事業として育成を図り、京阪エリアの魅力向上をリードする事業として快適な生活環境を創造し、京阪ブランドの価値向上を担います。また、競争力の強化のために、とりわけ利益率の向上に重点的に取り組みます。さらに、積極的な事業展開を行い京阪エリアの拡大にも取り組みます。

レジャー・サービス業

ホテル事業を今後のさらなる拡大を目指す事業とし、育成を図ります。具体的には、強みを持つ宿泊特化型のホテル事業を中心に、京阪エリアの拡大にも積極的に取り組むことで、京阪ブランドの価値向上を担います。

4. 組織形態

京阪グループは、事業持株会社体制において、運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業における経営と事業の分離をさらに推進し、責任の明確化と機動的な事業展開を実現します。また、シェアードサービスをより一層推進することにより更なる経営の効率化を行います。さらに、積極的・主導的な提携関係、資本関係を実現するためにも、開業 100 周年を迎える 2010 年を目途に、純粋持株会社体制へ移行します。



§ 3 . ビジョン実現に向け取り組むこと

1 . 京阪エリアの魅力を向上します

中之島

大阪における新たな経済・文化の拠点として、グループの総合力を結集した事業を展開し、積極的な情報発信を行うことで、人が交流する京阪グループの大阪都市部における中核エリアとして育成します。また、交通ネットワークの充実のため中之島線のさらなる延伸についても視野に入れた展開を行います。

京都

国際観光都市京都において、交通やホテルを中心にグループが連携して、観光目的でのお客さまに対する事業展開を強化します。さらに、情報ネットワークを拡充させることで、京阪グループとしての京都情報を世界に発信し、「京都といえば京阪」という地位を確立します。

京阪エリアの再開発の積極的な実施

グループの既存施設については、積極的な再開発に取り組み、継続的にグループ間の連携をとりながら魅力向上を図ります。また、グループ施設以外でも、再開発による沿線の魅力向上に積極的に取り組みます。

2. 京阪エリアを拡大します

グローバル化社会の中で、京阪ブランドの価値向上に資する事業や競争力のある事業については、積極的な展開を行い京阪エリアの拡大に取り組みます。

3. 京阪ブランドを確立します

企業が意図して創るお客さまからの確固たる評判であるブランドを、事業活動の重要な戦略として位置づけ、ブランドマネジメントを継続的に行うことを通して、京阪ブランドを確立します。

4. お客さまからの信頼を維持・向上します

京阪グループの存在理由とも言えるお客さまからの信頼を今後も維持し向上していけるように、安全・安心な鉄道事業をはじめとして、京阪グループ全体がその使命を自覚し真摯に仕事に取り組める社風、組織をこれからも発展させ続けます。

5. お客さま視点の営業力を強化します

お客さまの求められるものを読み取り的確にお応えできる提案力と、それをより多くのお客さまにお伝えできる発信力を強化し、お客さま視点の営業力をもった企業グループとして発展します。

6. 積極的・主導的な事業提携を行います

京阪グループ単独では提供できないサービス・商品・事業についても、京阪エリアの魅力を向上させ、お客さまに評価されるものであれば、積極的・主導的にパートナー企業と提携を行うことにより展開していきます。

§ 4 . 定量目標

1 . ビジョンの実現に向けて目標とする項目

	2020 年度(平成 32 年度) 目標
連 結 売 上 高	5,000 億円
連結売上高営業利益率	10.0%
総資産営業利益率 (ROA)	5.5%

2 . ビジョンの結果として目指す利益水準

	2020 年度(平成 32 年度) 目標
連 結 当 期 純 利 益	200 億円
自己資本当期純利益率 (ROE)	7.5%

§ 5 . ビジョンを実現する人物像(宣言)

わたしたちは、この経営ビジョンを実現するために、
「使命感を持って、真摯に全力を出し続けます。」

以 上